

目次

巻頭言 第2号に寄せて 明星聖子	4
特集1 愛の復活、そのゆくえ	
——今、ガブラー版『ユリシーズ』の意義を語る	
[研究ノート]	
ガブラーの愛、猫の残酷	
——ガブラー版『ユリシーズ』入門ワークショップ報告 横内一雄	8
[講演]	
“Do you know what you are talking about?” Hans Walter Gabler	
(日本語訳)「自分の話していることがわかっているのか？」	
ハンス・ヴァルター・ガブラー 小野瀬宗一郎 訳	18
特集2 生前の遺稿	
[論文]	
エリアス・カネッティの「生前の遺稿」	
——断想をめぐって 北島玲子	30
[報告]	
「生前の遺稿」	
——大江健三郎とミラン・クンデラの場合 阿部賢一	44
[講演]	
In der Gewalt der Archive Durs Grünbein	
(日本語訳)アーカイブの掌中で ドゥルス・グリュンバイン	
森林駿介・冨塚祐 訳	52
* * *	
論文	
読みやすさと学術性の両立は可能か	
——普及版ムージル全集における『特性のない男』の編集をめぐって 桂元嗣	68
ルイジ・レイタニ編ヘルダーリン全詩集の意義と限界	
——テキストの配列と構築を中心に 冨塚祐	88
* * *	
翻訳	
セバスティアノー・ティンパナーロ	
『ラハマン・メソッドの創成』(2) 伊藤博明	108